

令和6年2月21日

足立区立第五中学校  
校長 石井 秀生 様

足立区立第五中学校 評価部会  
松田 正之

## 令和5年度 学校関係者評価書

### 1. 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

#### (1) 所感

自己評価結果は妥当であり適切に分析されている。評価が不適切と判断される項目もあるが、概ね評価が厳しすぎるという意見や来年度への期待であり、学校運営に問題を感じているのではない。学力向上を前面に出した自己評価書となっているが、学校教育目標にある「心身ともに健康」、目指す学校像にある「文武両道」の観点からみた学校の現状が見えてこない。学力重視の偏った学校運営にならないことを期待する。

#### (2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組みについて

##### ア. 学力向上アクションプラン

「学力向上アクションプラン」に則った取り組みが行われている。詳細にわたる評価項目が設けられており、個別には課題もあるが全般として良い成果が認められる。区学力調査の通過率が英語のみ達成できなかったことを残念に思う。スマホに偏る生活習慣が見られ、読書する習慣を身に付けて欲しいという声がある。

学びの環境整備について、教室環境チェックシート並びに生徒アンケートを活用し、目標としていた数値が概ね達成できている。教員に労力がかかると思われるが、地道な積み重ねによる学力向上に期待したい。

##### イ. 自己肯定感の育成

ボランティア活動に対する肯定的な回答が73.5%と目標90%以上を達成できなかった。参加生徒数は多いものの、積極的に参加している生徒が少ないことになり残念に思う。

保護者や地域が参加してあいさつ運動を行っているが、やや消極的な姿勢がみられる。ボランティア活動同様に「自ら・積極的に」という姿勢が芽生えるまで継続して欲しい。

不登校生徒に対する丁寧な指導が進められており、目標通り欠席30日以上の子生徒数は昨年より減少した。教員が生徒や家庭と丁寧に関わり、より改善していくことに期待したい。

##### ウ. 保護者・地域との積極的な連携によるコミュニティ・スクール（CS）活動の推進

CS運営委員会（運営協議会）が組織され、定期的に活動が行われている。学校への満足度の肯定的な回答が93.5%と高く、今後の継続が望まれる。

### 2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

親・教員以外の「第三の大人＝地域住民」として、実効性のある活動によって成果が出ている。生徒及び教員との意見交換会を実施しているが、参加人数や時間配分など内容充実を望む声が多い。今後の課題として提示しておきたい。

以上

## 学校関係者評価部会 委員の意見（抜粋）

### （1）重点的な取り組み事項—1 「学力向上アクションプラン」

評価結果（達成度 △）	適切 3	不適切 3
-------------	------	-------

- ・ 良い意味で評価結果は不適切。○で良いのではないか。
- ・ 来年度の向上を目指して評価結果△で適切だと思います。読書をもっと上げて欲しい。
- ・ 全体的に適切に評価されていると思います。読書週間は何か工夫をして本を読む習慣につながれば良いと思います。
- ・ 学力向上は大事なことです。通過率などの達成基準について再考してほしい。五中の学習環境はとても良く、トータルで考慮したら達成度は△ではない。
- ・ 学力面で達成度△は適切であるが、その他の項目には○や◎があるため、達成度△の評価は適切ではない。

### （2）重点的な取り組み事項—2 「自己肯定感の育成」

評価結果（達成度 ◎）	適切 3	不適切 3
-------------	------	-------

- ・ 目標を達成しているために◎は適切な評価である。
- ・ 各項目に○や△があるので、来年度に向けて○が適切ではないかと感じました。
- ・ 生徒自身の「こころの声」を聴く努力を月に1回以上実施して欲しいと思います。
- ・ 不登校、いじめの問題はとても複雑であり、区と学校が取り組んでいることに評価する。
- ・ 各項目の達成度に○が多いので、◎は不適切であると思う。
- ・ ボランティア活動、挨拶運動においてももう少し積極性が欲しい。

### （3）重点的な取り組み事項—3 「保護者・地域との積極的な連携によるCS活動の推進」

評価結果（達成度 ◎）	適切 5	不適切 1
-------------	------	-------

- ・ 適切に評価されている。
- ・ 限りなく適切だが、アンケートの地域の回答の一部が少し気になり悩みました。
- ・ 今後はもっと多くの生徒との意見交換の場を設けて欲しいと思います。
- ・ 地域との関わりは「CS・開かれ」を中心に良い形で運営出来ている。
- ・ 意見交換会はフランクに話せるように時間を多めに欲しい。
- ・ 意見交換会を教員、生徒の両方で実施したい。また時間的にもう少し長く行いたい。

CS 運営委員会：栗田泰夫・森美枝・郭邦植      広報部会：土方紀昌  
 評価部会：松田正之・市川恵一